

一技術・家庭科（家庭分野）学習指導案一

日 時：

指導者：

場 所：

1 題材名 見つめよう 自分と家族 B(1) B(2) アイ

2 題材の目標

- ・自分の成長と家族やそれにかわる人々とのかかわりについて関心をもち、学習に取り組むことができる。
- ・幼児に関心をもち、幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて考えることができる。
(関心・意欲・態度)
- ・幼児の心身の発達や遊びと家族とのかかわりについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫することができる。
(工夫・創造)
- ・幼児の心身の発達や家族とのかかわりについて、観察したり、まとめたり、自分の考えを発表したりすることができる。
(技能)
- ・自分の成長と家族やそれにかわる人々とのかかわりについて気づいている。
- ・幼児の心身の発達や遊びと家族やそれにかわる人々とのかかわりに関する基礎的な知識を身につけている。
(知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 題材について

人が生まれ成長していく中で、家族の支えやそれにかわる人々とのかかわりはとても重要である。しかしながら、生徒達はこのことにあまり気がついていないのが現状である。核家族化、少子化が進む現代社会。家族の形態や価値観が多様化する一方で、人と人とのかかわりの機会が減少してきている気がする。幼児とかかわる機会も少なく、自分の幼い頃への関心も低い生徒達と体験を工夫しながら授業を実践する中で、家族や人とのかかわりについて考えさせ、その大切さを感じさせていきたい。

(2) 生徒について

本校の3年生は、技術分野と隔週で授業を実施しているため、学びの継続が難しい面があることや受検を控え日程的にも保育体験学習の実施が困難なことから、昨年度から余裕をもって学べる2年生で履修させている。そして、従来の3年生での学習に比べてもそれほど差を感じることもなく意欲的に学習に取り組むことができている。

本校の2年生は、静かに話を聞くことができることや、大変熱心にワークシートに取り組むなど、授業態度は良好である。しかし、全体的におとなしく、班での話し合いや意見の発表など仲の良い友達以外とのかかわりをやや嫌がる傾向が見られるため、話し合う機会を大切にして授業を進めたい。

生徒達は思春期をむかえ、無邪気さが消え、堅い表情をしている。そして、実体験（失敗の経験）の少なさから、ちょっとしたことですぐに不安や孤独を感じ、友達関係に人一倍エネルギーを費やしている。だからこそ、授業の中で幼児のかけがえのないかわいらしさに触れさせたい。そして、家族やそれにかわる人々に支えられて生きている自分を再確認させるとともに、幼児のころから確実に成長してきた自分を振り返り、自分への自信へとつなげていきたい。

4 本時の学習（第2次 1/2時）

(1) 小題材名 「幼児の心身の発達の特徴を知ろう」

(2) 目標 ・ 幼児の体の発達に関心を持ち、幼児の体の発達の特徴についてまとめることができる。

(3) 準備・資料等

幼児用いす、幼児服、靴、帽子、CDラジカセ、テープ、三輪車、足こぎ車、自転車、手形、足形
 絵、写真パネル、新生児の模型、体重計、メジャー、紙テープ、テープ、ハサミ

(4) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価場面・評価方法
(分) 10	<ul style="list-style-type: none"> 前時をふり返る。 学習の記録に学習内容を記入する。 本時の学習内容を知る。「幼児の発達の特徴を知ろう」 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児が書いた絵、紙芝居などを見せながら、自分の幼児期を思い出させ、幼児への関心を高めさせる。 	
30	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 体験 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 幼児の発達の特徴を知ろう（キッズ体験） </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体験コーナーを決める。（各班ごとにくじ引きをする。） 自分の体験するコーナーの内容を確認する。 キッズ体験をする。（3分） <ul style="list-style-type: none"> 運動機能コーナー 体重コーナー ウォッチングコーナー ことばコーナー 幼児のからだコーナー 身長コーナー 手形コーナー 足形コーナー 体験をして幼児の発達についてわかったことをワークシートに書く。 わかったことを発表する。 2回目のキッズ体験をする。（3分） 幼児の体の発達の特徴についてワークシートにまとめる。 まとめたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験を通して、幼児の体の発達について考えることを確認させる。 体験マップで体験内容を確認させる。 一人ひとりが体験できるように、体験コーナーには年齢や発達段階が分かる資料や実物を複数準備しておく。 ☆幼児への関心が低い生徒には一緒に体験したり、友達の体験する様子から気がついたことがないか探すようにアドバイスする。 ☆幼児への関心が低く、戸惑っている生徒には、体験内容を一緒にふり返りながら気がついたことを引き出すようにする。 同じ体験をしたグループの代表1名に発表させる。 発表された意見を板書する。 もとの班に戻し、2回目の体験コーナーを決めさせる。 黒板の内容を確認しながら体験をし、新たに気がついたことを探すようにアドバイスする。 2回の体験や友達の発表を振り返りながら、まとめるようにアドバイスする。 班の中で発表させた後、各班の代表を選ばせ、全体で発表させる。 	<p>評価場面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> キッズ体験に取り組み、わかったことを発表する場面 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 関心・意欲・態度② 幼児の体の発達に関心をもってキッズ体験に取り組み、気づいたことをまとめようとしている。 【ワークシート】 【行動観察】 </div> <p>評価場面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 幼児の体の発達の特徴についてまとめる場面 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 知識・理解② 幼児の体の発達の特徴について理解している。 【ワークシート】 </div>
10	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 ふりかえり活動をする。 次時の予告を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の成長の変化を写真で見せながら、本時の学習をふりかえらせる。 自己評価の各段階の目安を伝える。 次時は、本時の学習を生かしながら、心の発達についても学習を深めることを伝える。 	<p>評価場面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習をふりかえる場面 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 関心・意欲・態度② 知識・理解② 【自己評価】 </div>